

事業発展へ経営とITを橋渡し



ITコーディネーター ITC山形協同組合 屋島 正機

最近の経済情勢は厳しく、いつ好転するか分からない状態が続いている。こういつつ中で、経営者の方々は何をすべきか戸惑っている方も多いようである。もちろん積極的に次の手を打っている方もいる。

しかし、大企業の圧迫、金融の円滑化、労働問題等の多くの隘路（あやふし）が山積みし、事業の遂行は容易ならざるものがある。

この時期にあたり、有資格者による質の高いサービスを提供するビジネスモデルが必要と感じている。

県内の企業も官庁も、最新のIT技術を最大限有効に利用しているとは思えない。携帯電話であれ、PDA（携帯端末）であれ、インターネットの利用であれ、経営に十分に生かしているとはいえない。これらの利用方法を提案したいし、進め方をコンサルティングしたいものである。

昨年度の例では山形県内の官庁・民間を合わせた情報処理の発注金額の二%しか、県内の情報処理業者が受注していないのであ

る。これでは県内に情報処理業者は育たない。地域の仕事は地域で処理をすることが必要である。地産地消と言われるように、情報処理でもっと県内の業者が受注できなければならぬ。業者は先端技術を身に付けて、発注者の信頼を勝ち取らなければならないし、また発注者側もできるだけ地元（きよまち）の業者を使って欲しいものである。

そこで、経営とIT（情報通信）をつなぎ合わせ、IT関連の仕事を作り出すことが不可欠であり、それを可能にする人材の育成が大切である。

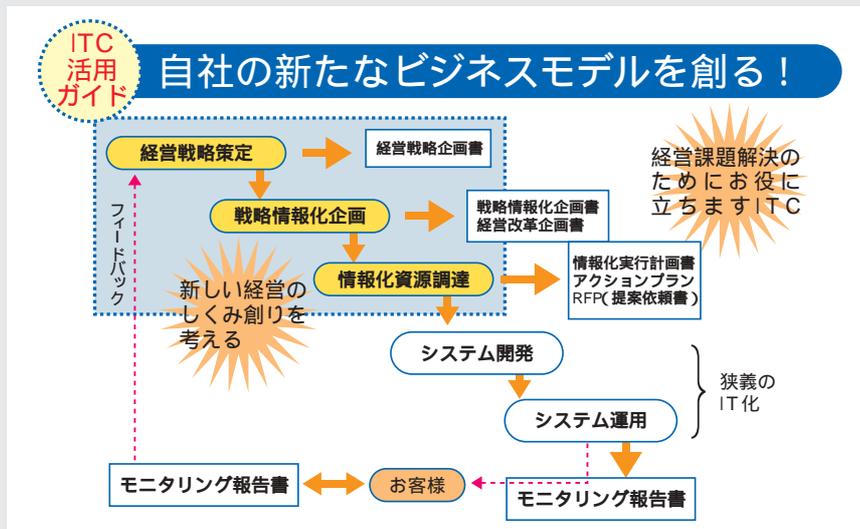
ちょうど経済産業省が推進している資格「ITコーディネータ」が新設され、県内にも十数名の有資格者が誕生した。それらの方々は「ITコーディネータ」だけでなく、「税理士」「中小企業診断士」「ISO各種審査員」「ISMS・セキュリティのプロ」「上級アドミニストレーター」「IT技術者のプロ」等さまざまな資格を有していたこともあり、経営とITの橋渡しをする団体をつくることに

した。事業協同組合として平成十五年一月に発足した「ITC山形協同組合」（組合員・十三企業・個人）である。今後も「ITコーディネータ」に限らず、広く会員を集めたいと考えている。IT関連のコンサルタント、コーディネーター、コラボレーションを実現しようとするものであり、専門的知識を融合し、IT関連業の仕事の発掘と業界の発展を願うものである。

山形県のIT業者は零細企業が多く、出たり消えたりしているが、これらの企業も継続できるように支えなければならぬ。また専門性が要求される業務であるので、他の団体とも連携し、お互いにWin Winの関係構築が必要である。

ITコーディネーターとしてはあくまで経営者の立場で経営者の意図が実現できるように活動するものであり、その結果の検証までやるつもりである。動かないコンピューターはつくらぬことをモットーとする。

ITコーディネーターの資格は永久資格で



は、毎年新しい技術を研修し、また実務もなければ剥奪される。ドッグイヤーと言われる変化の激しいIT社会に付いていくには当然のことである。また、協同組合内で、コンサルタントやIT技術の研修も、会員の能力向上に努めるつもりである。

われわれが「事業協同組合」という組織形態を選んだのは、それぞれがさまざまな専門家であり、事業主であるので、それぞれの経営方針を尊重しながら、コラボレーションをし、力を結集しようとするものである。事業

協同組合の事務所は代表理事の会社に併設するケースが多いが、やはり他組織との連携等も考慮すると独立した事務所が必要と考え、顧客の信用を得るためにも、山形市松栄一丁目の「県産業創造支援センター」内に事務所を構えた。

また、官庁関係の仕事も受注するつもりなので、一部メーカーと結びつくようなことはせず、中立性を保つつもりであり、そのためにもこの組織形態が最適と考えた。

変化の激しいこのIT社会で、専門家が手を取り合いながら切磋琢磨し続け、社会の役に立つことを目指している。

当組合の業務内容は、以下の五項目である。

- (1) 組合員の取り扱う情報システム及び経営に関するコンサルティング、または教育研修の共同受注
- (2) 組合員の事業に関する経営及び技術の改善向上、または組合事業に関する知識の普及を図るための教育及び情報提供
- (3) 組合員事業に関する調査、研究
- (4) 組合員の福利厚生に関する事業
- (5) 前各号に付帯する事業

具体的には、経営戦略策定、必要があれば情報戦略策定、官民ともセキュリティ監査、官庁の情報処理提案依頼書(RFP)作成、各種ISO取得支援、情報システム監査、経営者向けセミナー開講、ホームページ等を利用した情報提供、などを実施していくつもりである。

以前、中高齢者は功労者として企業の上層部に属し、ゆとりのある生活ができたものであるが、昨今はリストラの標的となり、定年

を迎えたとしても年金はすぐ受給できずに困っている人が大勢いる。そこで、それまでの経験を生かして仕事ができ、また自己実現ができるよう門戸を開いていくつもりである。永久就職が夢になりつつある現代、こういう生き方もあることを知って、仲間に入っていたくことを願っている。

ITコーディネーターとしての活動の範囲を広げ、新しいビジネスモデルを構築していく。情報処理でも良いシステムを見つけて出し、できるだけ安価に提供し、最後まで効果測定もしていくつもりである。

また、相互扶助の精神に則って共同の事業を行い、待ちの状態ではなく積極的に営業活動も行って、経済的地位の向上を図るつもりである。

読者の方々のご指導・ご助言をいただければ幸いです。

屋島 正機 (やしま・まさき)

ITC山形協同組合理事。EMY経営事務所代表(山形市蔵王成沢)。
 山形大学文学部卒業。(株)YCC情報システム役員を経て平成15年9月、経営コンサルタント「EMY経営事務所」開業。経営戦略、IT系、ISO系コンサルティングが中心。
 山形県ITコーディネータ協議会理事。中小企業総合事業団・IT推進アドバイザー。品質・環境ISO審査員補。高校非常勤講師。日本ソフトボール協会第1種審判員。
 ITC山形協同組合の連絡先：
 TEL 023-685-7121 FAX 023-685-7122